

(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B1)

(11)特許番号

特許第7572670号
(P7572670)

(45)発行日 令和6年10月24日(2024. 10. 24)

(24)登録日 令和6年10月16日(2024. 10. 16)

(51)Int. Cl. F I
E 0 2 D 5/24 (2006. 01) E 0 2 D 5/24 1 0 3

請求項の数 4 (全 9 頁)

(21)出願番号	特願2023-124785(P2023-124785)	(73)特許権者	598015084 学校法人福岡大学 福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号
(22)出願日	令和5年7月31日(2023. 7. 31)	(73)特許権者	308023826 株式会社テクノ九州 佐賀県神埼市神埼町尾崎2807番地
審査請求日	令和6年3月22日(2024. 3. 22)	(73)特許権者	394002981 株式会社岡本建設用品製作所 大阪府東大阪市長田中二丁目2番30号
		(74)代理人	100197642 弁理士 南瀬 透
		(74)代理人	100219483 弁理士 宇野 智也

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 鋼管杭の継手構造

(57)【特許請求の範囲】

【請求項1】

一对の鋼管杭の端部同士を同軸上で接合する鋼管杭の継手構造であって、
前記一对の鋼管杭の端部にそれぞれ溶接される一对の継手部材であり、それぞれ、前記一对の鋼管杭の互いの端部に嵌入可能な円柱をその軸心を含む第1平面で切断した半円柱状の嵌入部と、前記円柱より大径で前記一对の鋼管杭の端部間に位置する胴部であり、前記第1平面に連続する第2平面を有する胴部とを備えた一对の継手部材と、
前記一对の鋼管杭の互いの端部に嵌入された一对の継手部材同士を貫通する挿通孔と、
前記挿通孔に挿通して前記一对の継手部材同士を結合する結合部材と
を有する鋼管杭の継手構造。

【請求項2】

前記胴部は、前記一对の鋼管杭の端部に溶接される半円柱状部を有し、前記半円柱状部は円柱を前記第2平面で切断した形状である請求項1記載の鋼管杭の継手構造。

【請求項3】

前記胴部は、円柱を前記第2平面で切断した半円柱状部と、前記半円柱状部の外周部に設けられ、前記一对の鋼管杭の端部に溶接される円筒部とを有する請求項1記載の鋼管杭の継手構造。

【請求項4】

前記一对の継手部材は同一形状である請求項1から3のいずれか1項に記載の鋼管杭の継手構造。

10

20